

平成27年5月1日

# 居合道だより

第106号

## はじめに

里も山も新緑に溢れ、さわやかな風が薫り命漲るこの頃、稽古するにも最適の季節である。

拙道場の神棚には年間を通じて切らすことなく榊等の神柴をお供えしていて、早く来た者が毎回花器の水を入れ替える慣わしがある。数日前、水を入れ替えようと手に取って見たら何と神柴から黄緑色の小さな新芽が出ていた。

前回神柴を活け替えたのは昨年の大晦日であった。あれから4ヶ月もの間、水だけで生きているのも驚きだが、何と芽吹いていたのである。なんたる生命力、まさに神の木だとただただ感動した。

以前この欄で紹介したが、二年前に見様見真似で挿し木から育て、近くの平原遺跡横のあぜ道に移植した紫陽花が十数本20～30センチにまで生長した。挿し木したのは四十数本だったから歩留まりとしては今イチかなとは思っているが、今年はきっと色とりどりの花を咲かせてくれるだろうと今から楽しみである。

今年もそろそろ居合道初心者体験教室の準備をする時期になった。ここ数年毎年十数名の参加が有り、そのうちの半数以上は立派に会員になって活動し、楽しんでくれている。これは歩留まりとしては上々だろう。

受講生のなかで特に印象に残っている人物がいる。オーストラリア総領事のT氏である。

総領事といえば我々凡人にとってはとてつもないお偉いさんであり要人である。マスコミにもたびたび登場していたが、なんとも気さくで面白い人物であった。

ある日初めて一人で車を運転して道場に来たいというので、天神にある総領事館の事務官に道場の場所の目印にと近くの前原老松神社を教えたがいつまで経っても来ない。心配しているとT氏から電話がありナビ通りに運転してきたがどうも様子が違う、周りは山だらけだという。

誰か通行人に聞きなさいというので、なんと彼が到着したのは篠栗の老松神社だったのである。

いくら不慣れな異国の地とはいえ、途中でおかしいと思わなかったのがなんともおかしい笑い話であった。

そんな彼だったが居合に対する思いは真剣で、在任期間中に是非とも初段を取りたいというし、日豪友好親善のためにもと本気で厳しく指導した

が、如何せん生来の運動音痴に加え膝を痛めていて正座さえ出来ない有様であった。

基本の動作がなかなか上手く出来ない。こりゃどうしようもないとお手上げ状態の毎日だったが、逆に彼から一つだけ学んだことがある。

それは絶対に出来ないとは言わないこと、出来ないことを認めないことである。「出来ます！」としか言わないのである。「出来ていないじゃないか」と叱責すると「やります！出来ます！」の一点張り。必死になって稽古するのである。

オーストラリアといえばTPP交渉で日本とやり合っている国のひとつであるが、こりゃあ日本の担当者もてこずるだろうなと苦笑いを禁じ得なかった。

結局教室期間の終盤には業務多忙のために稽古は続けられなくなってしまったが、彼の一途な信念、姿勢は、清々しい皐月の風に似て我々をさわやかな気分にしつつ吹き抜けていった。

『それは出来る、それをやると決断せよ。それから方法を見つけるのだ。』かのリンカーンの言葉だが、T氏はこれから先も公私ともにそれを実践していくのだろう。



## 会員の声

福岡県居合道初心者教室

平成21年2月25日修了生

安本 誠

一

私が約6か月間の初心者教室を卒業したのが、平成21年2月25日です。居合道便りの原稿のお話があり、これまでの約6年間を回顧する良い機会をいただきました。

教室の時は、福岡武道館からは職場が遠方ですので、仕事を若干さぼって、無遅刻無欠席で参加しました。居合が覚えられるかどうかわかりませんでしたので、この無遅刻無欠席だけは私の教室参加の目標としていました。毎週水曜日に2時間の諸先生方の熱心なご指導を受け、神前の礼、刀礼そして制定12本を何とか覚えることができました。居合の型を覚えることはもちろん、その際に先生方がお話しされる座学も楽しませていただきました。たくさんあるその中の一つ、仮想敵というお話です。仮想かあ。見えない敵を切る。物理学を飯のタネにしている職業柄、「形なきものを見、音なきを聞く、仮想は得意だ!」と、勝手に自分で思いながら稽古をした記憶があります。その時に教えていただいた仮想敵は、現在も大切にしながら稽古に励んでいます。しかしながら、なかなか難しいです。その約半年間の体験教室的な感覚ではじめた居合道ですが、なんとなく自分の性格に合っているというか、刀を腰に差して正座をしているだけで、微妙に気持ちが落ち着きました。そのような純日本人的心地よさを求めて、生





涯居合道として続けていこうと決めました。

居合道教室を修了して、千代剣友会へ入会させていただきました。剣友会という会ですから、いろいろな先生がいらっしゃいまして、個性的です。一つの技にもいろいろな考え方や見方があって、入会当初は少々戸惑いもありましたが、現在ではそれが逆にまた楽しいものです。教本がある制定型でも、先生方の演武は一人ひとり異なりますし、居合道教室の先生方とも異なります。県外試合に参加したときに、他県の先生方の演武を拝見しましても、やはり異なります。教本通りでも、個性がでて、居合道の考え方というか、居合道哲学というか、演武を通してそれが拝見できます。自分で居合を稽古し、演武することも楽しんでいますが、ちょっと稽古を中断し、初心者の方、同期の方そして高段者の先生方の演武を拝見させていただいて、その演武者が何を表現したいのかをその演武を通して私自身考え、そして感じることも、最近では楽しんでいきます。

最後に、紙面をお借りいたしまして、千代剣友会でご指導をいただいている先生方、また、稽古会、錬成会や大会でお会いして気さくにお話しして下さる他道場の先生方、そして居合道教室でお世話になった先生方にお礼を申し上げるとともに、特に、居合道に引き込んでくださった大先生に感謝をいたします。現在、福岡県居合道部に入部して大変喜びを感じているのが実感です。

## 主な出来事

4月11日(土)

居合道教士称号筆記試験

福岡市

4月12日(日)

第45回福岡県剣道連盟武道祭

福岡武道館

居合道部75名参加



主な出来事

## 5月、6月の予定

5月2日(土)	第111回全日本剣道演武大会 居合道演武	京都市
5月3日(日)	居合道八段審査会	京都市
5月17日(日)	居合道部理事会、総会、実行委員会	粕屋ドーム
6月6日(土)～7日(日)	県居合道講習会 派遣講師 小倉 昇居合道委員	福岡武道館
6月14日(日)	第48回県居合道大会 級審査会 称号予備審査会 実行委員会	福岡武道館





公益社団法人 福岡県剣道連盟 福岡県剣道連盟 居合道部

第106号 平成27年5月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847